

1967 年東大理 3

正方形 A の中心を、 $(\cos\theta, \sin\theta)$ ($0 \leq \theta < 2\pi$) とする。
 正方形 A の上辺の y 座標は $\sin\theta + 1$ であり、これは正方形 B の上辺の y 座標 3 より大きくなることはない。
 正方形 A の右辺の x 座標は $\cos\theta + 1$ であり、これは正方形 B の右辺の x 座標 2 より大きくなることはない。

正方形 A と B が、共通範囲を持つ条件は

$$\sin\theta + 1 > 1, \cos\theta + 1 > 0 \quad \sin\theta > 0, \cos\theta > -1 \quad \therefore 0 < \theta < \pi \quad \text{--- ①}$$

①の範囲で、正方形 A と B の、共通範囲の面積は

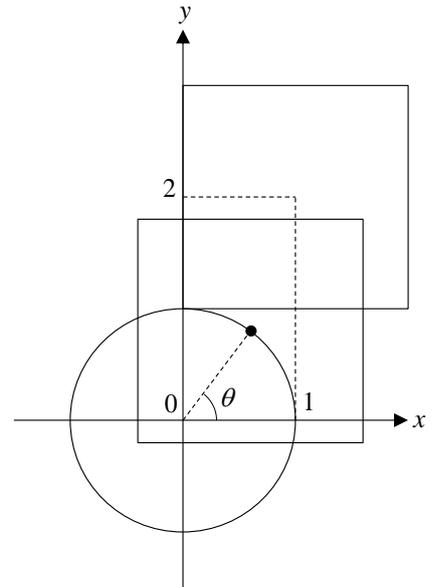
$$S(\theta) = \sin\theta(\cos\theta + 1) = \sin\theta\cos\theta + \sin\theta = \frac{1}{2}\sin 2\theta + \sin\theta$$

$$S'(\theta) = \cos 2\theta + \cos\theta = 2\cos^2\theta - 1 + \cos\theta = (2\cos\theta - 1)(\cos\theta + 1)$$

$S(\theta)$ の増減は右の通りで、 $\theta = \frac{\pi}{3}$ のとき極大となる。

求める最大値は

$$S\left(\frac{\pi}{3}\right) = \frac{1}{2}\sin\frac{2}{3}\pi + \sin\frac{\pi}{3} = \frac{\sqrt{3}}{4} + \frac{\sqrt{3}}{2} = \frac{3\sqrt{3}}{4} \quad \dots\dots (\text{答})$$



θ	0	...	$\frac{\pi}{3}$...	π
$S'(\theta)$		+	0	-	
$S(\theta)$		↗		↘	